# マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ
# 三陸ジオパーク　種差の魅力大研究

令和元年６月のマリエント「ちきゅう」たんけんクラブの活動をご報告します。

【趣旨】

○是川縄文館、八戸キャニオン等、バスでジオポイントを巡り見学、学習をすることで、種差をはじめとする三陸ジオパークの新たな魅力を発見する。

○普段何気なく見ている風景や物など、視点を変えて見ると、また違った見方・感じ方があるということを理解する。

○身近に「ジオパーク」という素晴らしい環境があることを知り、学習することで、自分達が住んでいる場所を誇りに思う。

○海岸清掃を通して、たんけんクラブ会員の環境保護・保全の意識を高める。

上記趣旨のもと、マリエント「ちきゅう」たんけんクラブ　三陸ジオパーク　種差の魅力大研究を開催しました。

期　日：令和元年６月２２日（土）　天気：曇り時々雨

場　所：八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、八戸キャニオン展望台、青森県立種差少年自然の家
大須賀海岸、八戸市水産科学館マリエント　３階ウミネコシアター

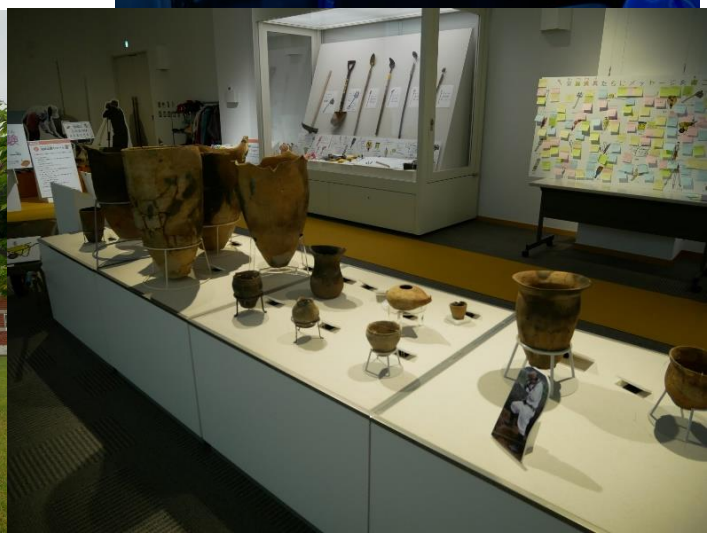
参加者：ジュニア会員４１名、シニア会員１名、付添（家族）４１名、引率４名　計８７名

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館にて

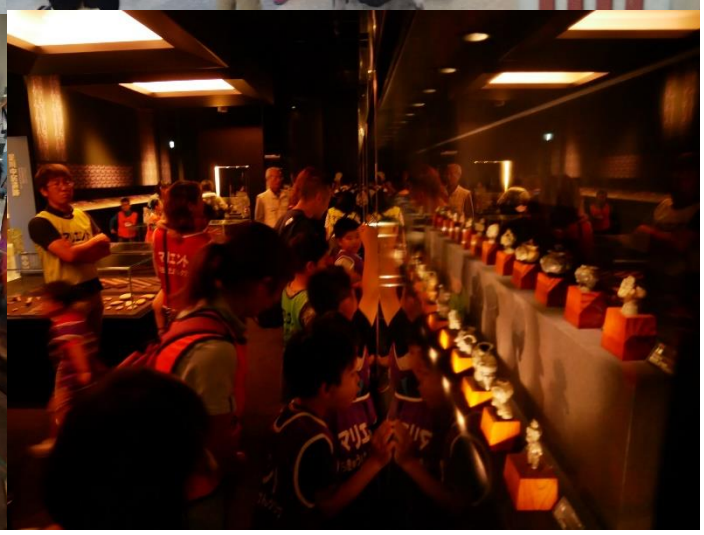
1号車、２号車に分かれて乗車し、バスでマリエントを出発。

車内では、たんけんクラブ井上貫之ジュニア会長、高橋晃シニア会長よりジオポイントの解説をして頂きました。

まずは八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館を見学。



ガイドの皆様に説明をしていただきながら館内を見学しました。



クラブ会員たちはそれぞれメモ帳を用意し、ガイドの皆さんのお話をしっかりとメモをとっています。

常設展示の他、国宝の合掌土偶も見学することができました。

是川縄文遺跡では、土器を使った人たちの文化が一万年も続いた跡があります。今より暖かった時代です。世界的な出土品が残っています。

時代によって土器の形や模様が違っていました。海の張り出しや十和田火山の噴火が大きく影響したとされています。

続いて、八戸キャニオンの展望台から見学。正式名称は八戸石灰鉱山。

現在の最深部は海抜－１７０メートル。国内で最も空が遠い場所と言われています。

鉱山と八戸港の専用埠頭及び八戸セメント（株）を総延長約１０キロの地下ベルトコンベアで結び、石灰石を輸送しています。石灰石は、八戸市が新産業都市となる元になったそうです。

２億年少し前に積もったサンゴ礁や貝が石灰岩となり、大型の２枚貝“メガロドン”の化石が発見されたりなど、鉱山の歴史や成り立ちについて学習しました。

お昼前には、井上貫之ジュニア会長より夏至の説明を受けました。一年のうちで最も昼（日の出から日没まで）の時間が長い日で、例年６月２１日ごろですが今年は２２日と特別な日となりました。

お昼は、種差少年自然の家でカレーライスをお振舞いただきました。

とっても美味しく皆でおかわりをしました。

昼食後、大須賀海岸にて海岸清掃を実施。

生憎の天気で予定より早めに切り上げましたが約９０名で総出でゴミを集めました。

海岸清掃後、マリエントへ帰館し、たんけんクラブ高橋 晃 シニア、井上貫之ジュニア会 長よりウミネコシアターで、今日の活動の振り返り、お 話 を聞きながらレポート作成を 行 いました。
「ホロド沼伝説」のお 話 も聞きました。八戸市と階 上 町の 境 付近にむかし大きなホロド沼がありました。ある日突然消えてなくなったという伝説があります。大蛇が棲んでいて悪さをしたので村人に退治されて、沼が無くなったとされています。大蛇や角柄折などの地名もそこからきているといいます。
　主に 20数万年前以降に噴出した何層かの十和田火山からの火山灰に覆われています。その下は、付加体の石灰岩とチャート。石灰岩が雨によって溶かされた 鍾 乳 洞 があって、ある時に沼とつながって水が無くなったと 考 えられています。

最後となりますが、今回、見学でお世話になりました八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館の皆様、お昼のご協 力 を 頂 きました種差少 年自然の家の皆様、ご指導を 頂 きました、井上貫之ジュニア会 長、たんけんクラブ高橋 晃 シニア、ご参加いただきましたクラブ会員及びご父兄の皆様、 誠 に有難うございました。
今後ともマリエント「ちきゅう」たんけんクラブを何卒宜しくお願い申し上げます。